



横浜での起業・経営力アップに役立つ情報レター

NEWS LETTER

IDEC ニュースレター

IDEC
YOKOHAMA

No.24

冬
2018

(年4回発行)

【発行】公益財団法人横浜企業経営支援財団

〒231-0011 横浜市中区太田町 2-23
横浜メディア・ビジネスセンター7F
TEL.045-225-3700 FAX.045-225-3737
http://www.idec.or.jp

「スマートものづくり応援隊」活動レポート

IDEC横浜は、市内中小製造業の皆さまの生産性向上・新事業展開などを促進することを目的に、IoT化を支援する「スマートものづくり応援隊」の無料派遣事業を実施しました。市内のものづくり中小企業10社を訪問し、IoT活用のアドバイスをを行いました。

■「スマートものづくり応援隊」について

この制度は、経済産業省管轄「スマートものづくり応援隊事業」の採択を受け編成された、15名のIoT化支援専門家チームを派遣するものです。専門家はいずれも製造現場の経験が豊富なおうえ、派遣にあたりIoT導入について所定の研修を修了しています。派遣先企業の現場では、課題抽出から導入前の環境整備、IoTツールを使った改善提案、そして導入後のフォローアップまで幅広くアドバイス。派遣を受けた企業のご担当者からは、「自社の課題抽出から個別提案まで具体的に受けることができ、今後の改善目標を明確に持つことができた」と、コメントをいただきました。

■横浜市内企業の実態とIoT化支援専門家の見解

横浜市経済局が平成28年9月に実施した「IoTに関連する技術・サービス導入に関する実態調査」によると、市内企業の14.0%が「(IoTを)業務や製品サービスに活用している」と回答しているのに対し、54.2%が「関心はあるが活用予定はない」と答えています。これについて、あるIoT化支援専門家は「企業がまだIoT機器の導入による改革の可能性に気付いていないのではないか。今回の派遣を通じて情報提供したい」と話しています。

■ご利用企業のご相談テーマ

派遣を申し込まれた企業の皆さまからは、IoTを活用して「稼働率を向上したい」「在庫管理を効率的に行いたい」「技術伝承したい」「業務の見える化を図りたい」などのご相談が寄せられています。今回の派遣で全てが改善されたわけではありませんが、IDEC横浜では今後も、企



派遣の様子

業の皆さまと一緒に、課題解決のお手伝いをしたいと考えています。

■IDEC横浜のIoT支援について

今年度の「スマートものづくり応援隊」事業は終了しましたが、IDEC横浜では、IoT活用については第2・第4金曜日にIT業界での豊富な経験を持つ中小企業診断士による無料の窓口相談や、技術アドバイザーの技術相談も行っています(年3回まで・無料)。ぜひお気軽にご利用ください。



IoT化支援専門家チーム 研修会の様子

お知らせ

「テクニカルショーヨコハマ2018」
IoT相談窓口開設します!!

日時:平成30年2月7日(水)~9日(金) 10:00~17:00
場所:パシフィコ横浜展示ホールA・B・C

■ Pick Up

コーディネーターによるマッチングで、オープンイノベーションを加速!

IDEC横浜では、25名の企業OBなどで構成される「ものづくりコーディネーター」が企業の現場を年間900件ほど訪問し、企業間・産学間マッチングを実施しています。

大手飲料メーカーと4年の歳月をかけ、茶殻配合シートを共同開発

昨年7月、珪藻土を用いた壁材などを手掛けるワンウィル(中区)と伊藤園が共同開発した「茶殻配合シート」を装着した環境配慮型の自動販売機が完成しました。これは4年前、伊藤園の工場から排出される茶殻の有効活用に向け、両社をマッチングしたのがきっかけでした。同シートは、抗菌消臭効果やヒートアイランド現象などの緩和効果があります。ワンウィルでは今後、同シートの特性をいかし、他の用途への展開も検討しています。

また、同社ではシックハウス



ワンウィル 山本社長

症候群の原因物質の一つでもあるホルムアルデヒド除去スプレー(写真)を開発。中国での販売強化に向けて、IDEC横浜の上海事務所が支援しています。

JAXAとの実証実験により、社員のモチベーションも向上

JAXAとのマッチングを行った幅広い分野でシステム開発の実績をもつデジタルコム(中区)は、電力制御システムの製品化に向けた実証実験を筑波宇宙センターで開始しました。同社の前山社長によると、JAXAとの取引が高度技術の習得と社員のモチベーション向上につながっているそうです。



デジタルコム 前山社長

ものづくりコーディネーター事業の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/renkei/monozukuri/> 問 マーケティング支援担当 045-225-3725

台湾インターンシップ受入れを通じ、ビジネスチャンスを拡大!

IDEC横浜では、台湾の機関である国際企業人材育成センター(ITI)*と連携し、市内企業へインターンシップ生を紹介しています。

市内企業でのインターン研修は、ITIで約1年半日本語の勉強を行った学生の現地研修プログラムとして行っており、今年度で13年目を迎えます。最近では、インターンの受入れにとどまらず、受け入れた学生を社員として採用する企業も増えてきました。

今年度でインターンの受入れを始めて8年目となる協進印刷(神奈川区)は、昨年1月~2月にインターン受入れを行った張念平さんを9月から正社員として採用しました。同社の江森社長は、「これまでのインターン受入れを通じITI学生の優秀さを実感しており、採用のチャンスを探していた。張さんには、日本と台湾両方の文化を理解している強みをいかし、言葉や文化の壁を乗り越えた心の通じ合う活躍に期待している」と語ります。張さんは、「お客さまの要望に応じていく営業の仕事にとってもやりがいを感じている。将来は日本と台湾・中国をつなぐ架け橋となるような存在になりたい」と今後の思いを熱く語りました。

今年度も1月~2月にインターンシップ生が来日します。受入企業(平成29年度21社、うち新規4社)の皆さまも、来日を心待ちにしています。日本や台湾で将来活躍が期待される学生達にご注目ください。



江森社長(左)と張さん(右)

* ITI とは…

「国際経済・貿易」と「外国語」を結びつける人材育成を目的に1987年に設立され、昨年で30周年を迎えました。英語やフランス語、ベトナム語など様々な語学コースがあり、日本語学科は全寮制で、2年間にわたり日本語を約1,400時間学ぶほか、経済貿易やマーケティングなどMBA課程の約2~3倍のプログラムを勉強しています。卒業後は台湾の大手企業を中心に多数の内定を獲得し、現在は経営者層として活躍している卒業生も多数います。

国際ビジネス支援の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/kaigai/>

問 国際ビジネス支援担当 045-225-3730

Pick Up

地域貢献活動が本業に好影響を与える!～スリーハイの事例から～

「横浜型地域貢献企業認定のあのロゴマークのプレッシャーがすごくあった」とスリーハイ(都筑区)の男澤社長は語ります。当初、清掃から始まった地域貢献活動は、地元中学生と協働による東山田工業団地の企業情報とAEDや災害用備蓄品などが掲載された防災マップの作成、地元小学生対象のオープンファクトリーや工業地域まち探検ツアーの開催へと活動の幅が広がりました。

地域貢献活動と本業の関連性が高まるにつれて地域住民と顔の見える関係ができ、「おもしろいことをやっている会社」という評判とともに同社の知名度もアップ。仕事が増えると、近所に住むパート社員が新しいパート社員を紹介するようになりました。その効果は自社内にとどまらず、防災マップをきっかけに企業の交流が活発になり、これまで見られなかった団地内企業間の受発注も生まれるようになりました。



インタビューを受ける男澤社長と後方には作業する社員



作業場兼ショールーム「ものづくりカフェDen」

こうした取組みが評価され、11月には、独自の工夫を実施し一定以上の付加価値額や経常利益の増加を実現した中小企業として神奈川県から「神奈川がんばる企業」に認定。さらに、ビジネスモデルの獨創性や地域貢献度等に優れた企業「神奈川がんばる企業エース」として選ばれています。

こういった活動を支えるのは、「とにかく尖ったことをしたい」という社長の想いから。他と同じことをしていても、数多くある製造業の中では埋もれてしまいがち。大きく出たあの会社面白いな、と思ってもらえることを目指して活動をされています。そんな同社は新たに地域活動をする場所として、「ものづくりカフェDen」をオープン。作業場兼ショールームとしての場ができたことで今後の活動の広がりが楽しみです。

横浜型地域貢献企業の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/keiei/csr/>

問 経営支援担当 045-225-3714

IDEC横浜
上海事務所レポート

日本語人材を輩出する上海市工商外国語学校

上海事務所 副所長 岩田 健

上海市工商外国語学校は、日本の高校に相当する3年制の学校で、ビジネス外国語教育に力を入れています。日本語学科には、一学年に80名の生徒が在籍しており、3分の1の生徒は卒業までに日本語能力試験N2級(5段階の上から2番目)を取得しています。卒業前に4か月の企業インターンシップ課程が組み込まれており、上海の日系企業もこの制度を活用できます。卒業生の多くは、中国国内の大学へ進学したり、日本へ留学したりしますが、一部の生徒は就職を希望

するそうです。

同校の王佳^{おうが}ビジネス外国語第二部主任は「就職希望者は大学卒ほど給与水準が高くないにもかかわらず、日本語能力と日系企業への就職意欲が高い」と日系企業にとって有望な人材である点を強調します。私が校内見学をした際には、生徒とすれ違うたびに挨拶され、誠実な印象を受けました。上海でインターンシップを受け入れてみたいと考虑したら、IDEC横浜の上海事務所までご連絡ください。



上海市工商外国語学校の王佳主任(左)、蘇芬^{そぶん}先生(右)ともに日本語堪能

上海事務所の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/shanghai/>

問 上海事務所 yokohama@idec-sh.com

■ 各種イベントのお知らせ

2018.1~3



イベント名 / 会場	日程 / 時間
起業チャレンジセミナー / IDEC横浜大会議室 創業に必要な知識や経営者としての心構えについて解説するセミナーです。創業を志す方に最初に受講して欲しいセミナーです。	1月17日(水) 14:00 ~ 16:00
テクニカルショウヨコハマ2018(第39回工業技術見本市) / パシフィコ横浜展示ホールABC 「IDEC 横浜 産学・企業間連携コーナー」を出展し、大学や企業等の研究成果事例、研究テーマ、開発製品等の紹介を行います。	2月7日(水)~9日(金) 10:00 ~ 17:00
為替セミナー「2018年度の為替相場見通しとグローバル経済の現況」 / 情文ホール 2018年度の為替相場見通しとグローバル経済の現況について解説します。	2月9日(金) 13:30 ~ 16:00
横浜ビジネスグランプリ2018 ファイナル / ランドマークホール 書類審査、プレゼンテーション審査を経たファイナルステージでは、ファイナリストが熱いプレゼンテーションを展開します。	2月24日(土) 14:00 ~ 17:15 (交流会 17:30 ~ 18:30)
スマートエネルギーWeek2018 / 東京ビッグサイト 東ホール 環境・エネルギービジネスに取り組んでいる市内企業4社と共同出展します。	2月28日(水)~3月2日(金) 10:00 ~ 18:00 (最終日のみ 17:00 まで)

その他多数のイベントを開催しています。詳細はウェブをご覧ください。

IDEC 横浜

検索

海外からのお客さまに向けた販路開拓がより便利になりました!

インキュベーション施設「テクノコア」入居企業
ジーエスエル バイオ ジャパン
GSL-BIO JAPANのご紹介

「海外のお客さまに施設を案内する際、非常に便利な立地です」と、GSL-BIO JAPANの藤田氏はテクノコアに入居したメリットを話します。金沢区所在のテクノコアは、羽田空港と同社の三崎プラント(三浦市)の中間にあたり、どちらからも車で30分程度で移動できる便利な立地です。同社は韓国に本社を置き、汚染・悪臭除去等に効果がある「baru複合乳酸菌」を製造・販売しています。「乳酸菌」を活用した製品であることから、人体に無害であることはもちろん、堆肥や農場等に散布すると、悪臭を抑える効果があるとともに、土壌が改善

され農作物が元気に育つという一石二鳥が狙えるとのこと。藤田氏は、「子どもたちの未来に良い環境をのこしたい。そのために、少しでも多くのお客さまに価値を認めてもらえるよう繰り返しアピールしていく」と意欲を語っています。



藤田氏(左)と創業者の金(キム)氏

金沢センターの詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/shisetsu/kanazawaht/>

問 金沢センター 045-788-9570

オフィスに! ラボに!
横浜金沢ハイテクセンター・テクノコア

- 事業拡大にゆる余の広さ!
 ・ 65㎡~126㎡、多様なスペース
- 研究・開発・連携に好立地!
 ・ ウェット仕様、実験レベル「P2」対応
- 専門家の無料アドバイス!
 ・ 経営相談・技術相談・海外展開等支援

- アクセス
 金沢シーサイドライン
 「産業振興センター駅」から徒歩1分
 首都高速湾岸線「幸浦ランプ」2分
 横浜横須賀道路「並木IC」4分
 金沢区福浦 1-1-1 Tel.045-788-9570

入居者
募集中



その他の施設の詳細はIDECホームページ <http://www.idec.or.jp/> 「施設案内」メニューから、各施設の入居募集案内をご確認ください。詳細は、施設経営担当 問 045-225-3710 まで。

編集
後記

2月にパシフィコ横浜で開催されるテクニカルショウヨコハマに、IDEC横浜は連携大学・機関とともに出展し、支援メニューや支援事例紹介等を行います。本紙でお伝えしきれていない情報を、職員や専門家などから直接お伝えできる良い機会となりますので、ぜひ皆さま足をお運びください。これからも皆さまのお役にたてるよう、職員一同努めてまいります。本紙について、ご意見、ご感想をお待ちしております。